

2010年度「キャンパスライフに関するアンケート調査」の概要

3 年次調査

- 調査対象者 学部 2008 年度生全員。
- 調査方法 2010 年度秋学期成績通知書交付時に調査票を配布し、その場で学生に回答してもらい回収した。
- 回収状況 有効回収数は 4044 票であり、3 月 31 日時点での在籍者数に対する回収率は 69.9%であった。

学部別回収状況（3 年次調査）

	有効票数	在学者数	回収率 (%)
神学部	54	58	93.1
文学部	439	789	55.6
社会学部	387	452	85.6
法学部	472	887	53.2
経済学部	672	945	71.1
商学部	627	847	74.0
政策学部	252	349	72.2
文化情報学部	241	271	88.9
理工学部	526	801	65.7
生命医科学部	188	233	80.7
スポーツ健康科学部	117	156	75.0
所属不明	69	-	
合計	4044	5788	69.9

2010年度 キャンパスライフに関するアンケート調査(2008年度生用)

アンケートご協力をお願い

同志社大学教育開発センターでは、より良い教育プログラムの開発を目的として、みなさんが本学の教育に対してどのように感じておられるかを把握するため、調査を実施しています。回答いただいた内容は、すべて数値に置き換えられ統計的に処理されますので、みなさんの回答が他の人に知られることは絶対にありません。また、調査結果が本学の教育改善以外の目的に使用されることもありません。本学の教育に対するみなさんの意見を知らるための貴重な資料となりますので、ご協力くださいますよう、よろしくお願ひいたします。

- 回答の仕方は、質問文の指示にしたがってください。
- ほとんどの質問は、あてはまる番号に○をつけてお答えください。
- いくつかの質問には、数値や文字を記入してください。
- 回答したくない質問には、無理に答えていただくなくて結構です。
- 質問は全部で27問あります。10分程度で回答できる内容ですから、アンケート用紙を受け取られたら、すぐに回答していただき、所定のアンケート回収箱に入れてください。

同志社大学教育開発センター

E-mail: ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp

TEL: 075-251-3277

1. あなたが所属している学部・学科について、あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|----------------|-----------------------|------------------------|
| 1. 神学部神学科 | 12. 社会学部教育文化学科 | 23. 理工学部機械システム工学科 |
| 2. 文学部英文学科 | 13. 法学部法律学科 | 24. 理工学部エネルギー機械工学科 |
| 3. 文学部哲学科 | 14. 法学部政治学科 | 25. 理工学部機能分子・生命化学科 |
| 4. 文学部心理学科 | 15. 経済学部経済学科 | 26. 理工学部化学システム創成工学科 |
| 5. 文学部美学芸術学科 | 16. 商学部商学科 | 27. 理工学部環境システム学科 |
| 6. 文学部文化史学科 | 17. 政策学部政策学科 | 28. 理工学部数理システム学科 |
| 7. 文学部国文学科 | 18. 文化情報学部文化情報学科 | 29. 生命医科学部医工学科 |
| 8. 社会学部社会学科 | 19. 理工学部インテリジェント情報工学科 | 30. 生命医科学部医情報学科 |
| 9. 社会学部社会福祉学科 | 20. 理工学部情報システムデザイン学科 | 31. 生命医科学部医生命システム学科 |
| 10. 社会学部メディア学科 | 21. 理工学部電気工学科 | 32. スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 |
| 11. 社会学部産業関係学科 | 22. 理工学部電子工学科 | |

2. あなたの性別について、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 男性 2. 女性

3. あなたは自宅通学ですか、自宅外通学ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 自宅通学 2. 自宅外通学

4. あなたの2010年度終了時点での累積 GPA はいくらでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 1.00 ポイント未満 | 2. 1.00～1.49 ポイント | 3. 1.50～1.99 ポイント |
| 4. 2.00～2.49 ポイント | 5. 2.50～2.99 ポイント | 6. 3.00 ポイント以上 |

5. あなたの高校での成績は、学年の中で大体どのくらいでしたか。次の中から最も近いものを選んでください。

1. 上位の方 2. 中の上ぐらい 3. 中ぐらい 4. 中の下ぐらい 5. 下位の方 9. わからない

6. あなたは、どの入試を受けて本学に入学しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. 一般入試 | 9. 法人内諸学校等推薦入試(同志社国際高校) |
| 2. 指定校推薦入試 | 10. キリスト教主義学校連携ネットワーク推薦入試
(法人内諸学校等推薦入試(新島学園高校)を含む) |
| 3. 推薦選抜入試(公募制) | 11. スポーツ推薦選抜入試 |
| 4. AO入試 | 12. 第2年次転入学試験、第3年次転入学試験、第3年
次編入学試験 |
| 5. 大学入試センター試験を利用する入試 | 13. 社会人特別選抜入試 |
| 6. 法人内諸学校等推薦入試(同志社高校) | 14. 外国人留学生入試 |
| 7. 法人内諸学校等推薦入試(同志社香里高校) | |
| 8. 法人内諸学校等推薦入試(同志社女子高校) | |

7. 本学は、あなたが何番目に志望した大学ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 第一志望 2. 第一志望以外

8. あなたは現役ですか、浪人ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 現役 2. 一浪 3. 二浪 4. その他(留学生、社会人など)

9. あなたは次のことに対して、どのくらい満足していますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	満足	やや満足	どちらとも いえません	やや不満	不満	(履修から ない 利用し ていない)
1) 英語・外国語の授業	1	2	3	4	5	9
2) 全学共通教養教育科目の授業	1	2	3	4	5	9
3) 所属学部・学科の専門の授業	1	2	3	4	5	9
4) 教室の設備環境	1	2	3	4	5	9
5) 図書館の環境や設備	1	2	3	4	5	9
6) パソコンの利用環境	1	2	3	4	5	9
7) 就職に関する情報提供や相談	1	2	3	4	5	9
8) 免許・資格課程科目(教職、学芸員、司書、司書教諭)の授業	1	2	3	4	5	9

10. あなたは、次のような力が大学入学時にどの程度身についていたと思いますか。また、今まで本学で学生生活を経験されて、その力がさらに身についたと思いますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	大学入学時に				現在			
	身につけていなかった	あまり身につけていなかった	やや身につけていた	身につけていた	身につけなかった	あまり身につけなかった	やや身についた	身についた
1) 一般的な教養	1	2	3	4	1	2	3	4
2) 専攻分野や学科の知識	1	2	3	4	1	2	3	4
3) 自分の意見と事実を分けて書く力	1	2	3	4	1	2	3	4
4) 定められた形式に従ってレポートを書く力	1	2	3	4	1	2	3	4
5) 文献や資料を読んで要点を理解する力	1	2	3	4	1	2	3	4
6) 課題を解決する力	1	2	3	4	1	2	3	4
7) ものごとの問題点を発見する力	1	2	3	4	1	2	3	4
8) プレゼンテーションの力	1	2	3	4	1	2	3	4
9) 自分の意見を筋道立てて主張できる力	1	2	3	4	1	2	3	4
10) 科学的・数量的にものごとを見る力	1	2	3	4	1	2	3	4
11) ものごとに対して粘り強く取り組む力	1	2	3	4	1	2	3	4
12) 英語の能力	1	2	3	4	1	2	3	4
13) 英語以外の外国語(初修外国語)の能力	1	2	3	4	1	2	3	4
14) 異文化の人々に関する知識	1	2	3	4	1	2	3	4
15) 地域社会が直面する問題に対する理解	1	2	3	4	1	2	3	4
16) チームワーク	1	2	3	4	1	2	3	4
17) グローバル化による問題に対する理解	1	2	3	4	1	2	3	4
18) リーダーシップの能力	1	2	3	4	1	2	3	4
19) 人間関係を構築する能力	1	2	3	4	1	2	3	4
20) 異文化の人々と協力する能力	1	2	3	4	1	2	3	4
21) 批判的に考える力	1	2	3	4	1	2	3	4
22) 効果的に学習する技能	1	2	3	4	1	2	3	4
23) 自ら考え行動する力	1	2	3	4	1	2	3	4
24) キリスト教精神	1	2	3	4	1	2	3	4
25) 日本文化に関する知識	1	2	3	4	1	2	3	4
26) コミュニケーション能力	1	2	3	4	1	2	3	4

11. あなたは、本学の授業で次のような科目を履修しましたか。あてはまる番号にすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------|
| 1. 同志社科目(建学の精神や理念にふれる科目) | 6. 免許・資格課程科目(教職、学芸員、司書、司書教諭) |
| 2. 教養演習科目 | 7. 体育実技(スポーツパフォーマンス) |
| 3. 学際科目 | 8. AKP 同志社留学生センター開設科目 |
| 4. プロジェクト科目 | 9. キャリア形成支援科目 |
| 5. 初年次教育科目(少人数制で主に大学での学習方法について学ぶ科目) | 10. 国際教養科目 |

12. あなたは本学の授業に対して、どのように取り組んでいますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くしない	あまりしない	たまにする	よくする
1) 教員が黒板に書かなかったことでもノートを取る	1	2	3	4
2) 授業内容について教員に質問をする	1	2	3	4
3) 授業で出された課題はきちんと提出する	1	2	3	4
4) 授業内容について他の学生と議論する	1	2	3	4
5) 試験の前に時間をかけて勉強をする	1	2	3	4
6) 授業の予習や復習をする	1	2	3	4
7) 授業に遅刻や欠席をする	1	2	3	4
8) 欠席した授業の内容はすぐに補う	1	2	3	4
9) 授業を他の活動より優先する	1	2	3	4
10) 授業をつまらなく感じる	1	2	3	4
11) 業者の講義ノートを購入する	1	2	3	4

13. あなたがこれまでに受講した授業で、以下の授業形態・方法が取られたものがありましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くなかった	あまりなかった	時々あった	よくあった
1) 出欠の確認	1	2	3	4
2) ディスカッション	1	2	3	4
3) 学生によるプレゼンテーション	1	2	3	4
4) SA やTA(上級生や大学院生の補助)による助言	1	2	3	4
5) グループでの作業や活動	1	2	3	4
6) 定期的な習熟度チェック小テスト	1	2	3	4
7) 定期的な課題提出	1	2	3	4
8) 課題提出物の添削と返却	1	2	3	4
9) フィールドワーク	1	2	3	4
10) 体験学習	1	2	3	4
11) 実習・実験	1	2	3	4

14. あなたにとって、本学の授業は次の項目に対してどの程度役に立ちましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	役に立たなかった	あまり役に立たなかった	やや役に立った	役に立った
1) 大学生活での目的や目標の設定	1	2	3	4
2) 学問に対する動機づけ	1	2	3	4
3) 職業や進路選択の方向づけ	1	2	3	4
4) 探究心を持つこと	1	2	3	4
5) 社会問題への関心を持つこと	1	2	3	4
6) 多様なものの見方に触れること	1	2	3	4
7) 批判的精神を持つこと	1	2	3	4
8) 一般常識を身につけること	1	2	3	4
9) 協調性を持つこと	1	2	3	4
10) 大学生であるという自覚を持つこと	1	2	3	4
11) 愛校精神を持つこと	1	2	3	4
12) 自分に自信や肯定感を持つこと	1	2	3	4
13) リーダーシップを発揮すること	1	2	3	4
14) 国際的視野の獲得	1	2	3	4

15. あなたは、大学入学後につきのような経験をしたことがありますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	経験したことがある	経験したことがない
1) 語学研修プログラムへの参加	1	2
2) 正規交換留学生として留学	1	2
3) 私費留学生として留学	1	2

16. あなたは、本学の教育全般に満足していますか、それとも不満ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1	2	3	4	5
満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である

17. あなたは、大学生活のなかで、次のことに対してどのように感じていますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1) 同じ学部・学科の友人がいる	1	2	3	4
2) 他の大学に通う友人がいる	1	2	3	4
3) 大学の教員と交流がある	1	2	3	4
4) 大学の一員だと感じる	1	2	3	4
5) 大学は気おくれして居心地が悪い	1	2	3	4
6) 大学はいつも退屈だ	1	2	3	4
7) 大学では毎日新しい発見がある	1	2	3	4

18. あなたは、大学での学習についてどのように考えていますか。次のような意見について、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

	そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	や や そ う 思 う	そ う 思 う
1) 大学で学ぶことは楽しい	1	2	3	4
2) 大学で学ぶこと自体に価値がある	1	2	3	4
3) 大学でよい成績をとることは重要だ	1	2	3	4
4) 大学で身につけた知識やスキルが将来の職業生活に役立つ	1	2	3	4
5) 大学を卒業すれば、よりよい条件の職業につくことができる	1	2	3	4
6) 大学で何を学んだかは就職活動の結果に関係がない	1	2	3	4

19. あなたは授業期間中、通常1週間に約何時間、授業中以外に学習活動(勉強、文章作成、読書、実験、リハーサル等)を行いましたか。まったく学習しなかった場合は、0(ゼロ)と記入してください。

--	--

時間 くらい

20. あなたは授業期間中に、通常1週間に約何時間、仕事またはアルバイトを行いましたか。アルバイトをまったくしなかった場合は、0(ゼロ)と記入してください。

--	--

時間 くらい

21. あなたは、最近3ヶ月で何冊ぐらい授業とは関係のない読書(漫画、趣味・娯楽雑誌を除く)をしましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 0冊 2. 1冊 3. 2冊 4. 3冊 5. 4冊 6. 5冊以上

22. あなたの大学入学後の学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	し な か っ た	あ ま り し な か っ た	た ま に し た	日 常 的 に し た
1) 図書館を利用する	1	2	3	4
2) 教科書以外の文献を読む	1	2	3	4
3) 新聞の政治面、経済面、国際面等を読む	1	2	3	4
4) 新聞、インターネット等で英文記事を読む	1	2	3	4
5) 学習の計画を立てる	1	2	3	4
6) インターネットで情報を収集する	1	2	3	4
7) パソコンを使って文書や資料を作成する	1	2	3	4
8) ボランティア活動をする	1	2	3	4
9) クラブ・サークル活動を行う	1	2	3	4
10) 新島襄や建学の精神にふれる大学の行事に参加する	1	2	3	4

23. あなたは学部卒業後、どのような進路を考えていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|------------------|--------------|
| 1. 民間企業に就職する | 2. 公務員や教員として就職する | 3. 自営業や家業を継ぐ |
| 4. 大学院に進学する | 5. 他大学に(編)入学する | 6. 専門学校に進学する |
| 7. まだわからない | 8. その他(具体的に |) |

24. あなたが働くこと(希望する進路)について真剣に考え始めたのはいつごろでしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 大学入学前 | 4. 大学3年生の4月から9月 |
| 2. 大学1年生のとき | 5. 大学3年生の10月から3月 |
| 3. 大学2年生のとき | 6. まだ考えていない |

25. あなたが仕事や就職先を選ぶ際に、次のことはどのくらい重要ですが。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	重要でない	あまり重要でない	ある	やや重要で	重要である
1) 大学で学んだことが生かせること	1	2	3	4	
2) 自分の興味や関心に合っていること	1	2	3	4	
3) 失業の恐れがないこと	1	2	3	4	
4) 高い収入が得られること	1	2	3	4	
5) 社会に貢献すること	1	2	3	4	

26. あなたが将来めざす進路にはどのような能力が必要だと思いますか。A群より、もっとも必要だと考えるものから順に3つ答えて選択肢の番号を記入してください。また、その能力は大学生活のどの場面で得られると考えていますか。最初に選んだA群の項目に対応するものをB群から1つ選択して番号を記入してください。

順位	能力(A群から1つ選択)	場面(B群から1つ選択)
1		
2		
3		

A群

1. 一般的な教養	5. チームワーク	9. 人間関係を構築する能力
2. 専門分野の知識	6. 粘り強く取り組む力	10. 批判的に考える力
3. 課題を解決する力	7. 英語の能力	11. 自ら考え行動する力
4. 問題点を発見する力	8. リーダーシップの能力	12. コミュニケーション能力

B群

1. 大学の授業(教養科目)	5. 海外語学研修のプログラム	9. ボランティア活動
2. 大学の授業(専門科目)	6. 留学	10. 就職活動時
3. 大学の授業(ゼミ・卒業論文・卒業研究)	7. クラブ・サークル活動	11. 大学生活ではあまり身につかない
4. 大学の授業(外国語教育科目)	8. アルバイト	12. その他()

27. あなたは、希望する進路のためにどのような次のような活動を行いましたか。以下の項目にあてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	行った	行っていない
1) 専門学校に通う	1	2
2) 進路に関連のある授業を履修する	1	2
3) 目標とする職種に近いアルバイトをする	1	2
4) インターンシップ	1	2
5) 進路に関連する文献・雑誌記事を読む	1	2
6) クラブやサークルの先輩またはOB・OGに仕事の話聞く	1	2
7) キャリアセンターに行って相談を受ける	1	2
8) 教員に相談する	1	2
9) 語学検定試験や資格試験を受ける	1	2

本学の教育について意見があれば、自由に記入してください。

ご協力ありがとうございました。

※本アンケート調査項目の利用を希望される場合は、同志社大学教育開発センター(ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp)までご連絡ください。

2010年度 キャンパスライフに関するアンケート調査(2008年度生用)

アンケートご協力をお願い

同志社大学教育開発センターでは、より良い教育プログラムの開発を目的として、みなさんが本学の教育に対してどのように感じておられるかを把握するため、調査を実施しています。回答いただいた内容は、すべて数値に置き換えられ統計的に処理されますので、みなさんの回答が他の人に知られることは絶対にありません。また、調査結果が本学の教育改善以外の目的に使用されることもありません。本学の教育に対するみなさんの意見を知らるための貴重な資料となりますので、ご協力くださいますよう、よろしくお願ひいたします。

- 回答の仕方は、質問文の指示にしたがってください。
- ほとんどの質問は、あてはまる番号に○をつけてお答えください。
- いくつかの質問には、数値や文字を記入してください。
- 回答したくない質問には、無理に答えていただくなくて結構です。
- 質問は全部で27問あります。10分程度で回答できる内容ですから、アンケート用紙を受け取られたら、すぐに回答していただき、所定のアンケート回収箱に入れてください。

同志社大学教育開発センター

E-mail: ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp

TEL: 075-251-3277

1. あなたが所属している学部・学科について、あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|----------------|-----------------------|------------------------|
| 1. 神学部神学科 | 12. 社会学部教育文化学科 | 23. 理工学部機械システム工学科 |
| 2. 文学部英文学科 | 13. 法学部法律学科 | 24. 理工学部エネルギー機械工学科 |
| 3. 文学部哲学科 | 14. 法学部政治学科 | 25. 理工学部機能分子・生命化学科 |
| 4. 文学部心理学科 | 15. 経済学部経済学科 | 26. 理工学部化学システム創成工学科 |
| 5. 文学部美学芸術学科 | 16. 商学部商学科 | 27. 理工学部環境システム学科 |
| 6. 文学部文化史学科 | 17. 政策学部政策学科 | 28. 理工学部数理システム学科 |
| 7. 文学部国文学科 | 18. 文化情報学部文化情報学科 | 29. 生命医科学部医工学科 |
| 8. 社会学部社会学科 | 19. 理工学部インテリジェント情報工学科 | 30. 生命医科学部医情報学科 |
| 9. 社会学部社会福祉学科 | 20. 理工学部情報システムデザイン学科 | 31. 生命医科学部医生命システム学科 |
| 10. 社会学部メディア学科 | 21. 理工学部電気工学科 | 32. スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 |
| 11. 社会学部産業関係学科 | 22. 理工学部電子工学科 | |

2. あなたの性別について、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 男性 2. 女性

3. あなたは自宅通学ですか、自宅外通学ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 自宅通学 2. 自宅外通学

4. あなたの2010年度終了時点での累積 GPA はいくらでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 1.00 ポイント未満 | 2. 1.00～1.49 ポイント | 3. 1.50～1.99 ポイント |
| 4. 2.00～2.49 ポイント | 5. 2.50～2.99 ポイント | 6. 3.00 ポイント以上 |

5. あなたの高校での成績は、学年の中で大体どのくらいでしたか。次の中から最も近いものを選んでください。

1. 上位の方 2. 中の上ぐらい 3. 中ぐらい 4. 中の下ぐらい 5. 下位の方 9. わからない

6. あなたは、どの入試を受けて本学に入学しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. 一般入試 | 9. 法人内諸学校等推薦入試(同志社国際高校) |
| 2. 指定校推薦入試 | 10. キリスト教主義学校連携ネットワーク推薦入試
(法人内諸学校等推薦入試(新島学園高校)を含む) |
| 3. 推薦選抜入試(公募制) | 11. スポーツ推薦選抜入試 |
| 4. AO入試 | 12. 第2年次転入学試験、第3年次転入学試験、第3年
次編入学試験 |
| 5. 大学入試センター試験を利用する入試 | 13. 社会人特別選抜入試 |
| 6. 法人内諸学校等推薦入試(同志社高校) | 14. 外国人留学生入試 |
| 7. 法人内諸学校等推薦入試(同志社香里高校) | |
| 8. 法人内諸学校等推薦入試(同志社女子高校) | |

7. 本学は、あなたが何番目に志望した大学ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 第一志望 2. 第一志望以外

8. あなたは現役ですか、浪人ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 現役 2. 一浪 3. 二浪 4. その他(留学生、社会人など)

9. あなたは次のことに対して、どのくらい満足していますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	満足	やや満足	どちらとも いえません	やや不満	不満	(履修から ない 利用し ていない)
1) 英語・外国語の授業	1	2	3	4	5	9
2) 全学共通教養教育科目の授業	1	2	3	4	5	9
3) 所属学部・学科の専門の授業	1	2	3	4	5	9
4) 教室の設備環境	1	2	3	4	5	9
5) 図書館の環境や設備	1	2	3	4	5	9
6) パソコンの利用環境	1	2	3	4	5	9
7) 就職に関する情報提供や相談	1	2	3	4	5	9
8) 免許・資格課程科目(教職、学芸員、司書、司書教諭)の授業	1	2	3	4	5	9

10. あなたは、次のような力が大学入学時にどの程度身についていたと思いますか。また、今まで本学で学生生活を経験されて、その力がさらに身についたと思いますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	大学入学時に				現在			
	身につけていなかった	あまり身につけていなかった	やや身につけていた	身につけていた	身につけなかった	あまり身につけなかった	やや身についた	身についた
1) 一般的な教養	1	2	3	4	1	2	3	4
2) 専攻分野や学科の知識	1	2	3	4	1	2	3	4
3) 自分の意見と事実を分けて書く力	1	2	3	4	1	2	3	4
4) 定められた形式に従ってレポートを書く力	1	2	3	4	1	2	3	4
5) 文献や資料を読んで要点を理解する力	1	2	3	4	1	2	3	4
6) 課題を解決する力	1	2	3	4	1	2	3	4
7) ものごとの問題点を発見する力	1	2	3	4	1	2	3	4
8) プレゼンテーションの力	1	2	3	4	1	2	3	4
9) 自分の意見を筋道立てて主張できる力	1	2	3	4	1	2	3	4
10) 科学的・数量的にものごとを見る力	1	2	3	4	1	2	3	4
11) ものごとに対して粘り強く取り組む力	1	2	3	4	1	2	3	4
12) 英語の能力	1	2	3	4	1	2	3	4
13) 英語以外の外国語(初修外国語)の能力	1	2	3	4	1	2	3	4
14) 異文化の人々に関する知識	1	2	3	4	1	2	3	4
15) 地域社会が直面する問題に対する理解	1	2	3	4	1	2	3	4
16) チームワーク	1	2	3	4	1	2	3	4
17) グローバル化による問題に対する理解	1	2	3	4	1	2	3	4
18) リーダーシップの能力	1	2	3	4	1	2	3	4
19) 人間関係を構築する能力	1	2	3	4	1	2	3	4
20) 異文化の人々と協力する能力	1	2	3	4	1	2	3	4
21) 批判的に考える力	1	2	3	4	1	2	3	4
22) 効果的に学習する技能	1	2	3	4	1	2	3	4
23) 自ら考え行動する力	1	2	3	4	1	2	3	4
24) キリスト教精神	1	2	3	4	1	2	3	4
25) 日本文化に関する知識	1	2	3	4	1	2	3	4
26) コミュニケーション能力	1	2	3	4	1	2	3	4

11. あなたは、本学の授業で次のような科目を履修しましたか。あてはまる番号にすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------|
| 1. 同志社科目(建学の精神や理念にふれる科目) | 6. 免許・資格課程科目(教職、学芸員、司書、司書教諭) |
| 2. 教養演習科目 | 7. 体育実技(スポーツパフォーマンス) |
| 3. 学際科目 | 8. AKP 同志社留学生センター開設科目 |
| 4. プロジェクト科目 | 9. キャリア形成支援科目 |
| 5. 初年次教育科目(少人数制で主に大学での学習方法について学ぶ科目) | 10. 国際教養科目 |

12. あなたは本学の授業に対して、どのように取り組んでいますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くしない	あまりしない	たまにする	よくする
1) 教員が黒板に書かなかったことでもノートを取る	1	2	3	4
2) 授業内容について教員に質問をする	1	2	3	4
3) 授業で出された課題はきちんと提出する	1	2	3	4
4) 授業内容について他の学生と議論する	1	2	3	4
5) 試験の前に時間をかけて勉強をする	1	2	3	4
6) 授業の予習や復習をする	1	2	3	4
7) 授業に遅刻や欠席をする	1	2	3	4
8) 欠席した授業の内容はすぐに補う	1	2	3	4
9) 授業を他の活動より優先する	1	2	3	4
10) 授業をつまらなく感じる	1	2	3	4
11) 業者の講義ノートを購入する	1	2	3	4

13. あなたがこれまでに受講した授業で、以下の授業形態・方法が取られたものがありましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	全くなかった	あまりなかった	時々あった	よくあった
1) 出欠の確認	1	2	3	4
2) ディスカッション	1	2	3	4
3) 学生によるプレゼンテーション	1	2	3	4
4) SA やTA(上級生や大学院生の補助)による助言	1	2	3	4
5) グループでの作業や活動	1	2	3	4
6) 定期的な習熟度チェック小テスト	1	2	3	4
7) 定期的な課題提出	1	2	3	4
8) 課題提出物の添削と返却	1	2	3	4
9) フィールドワーク	1	2	3	4
10) 体験学習	1	2	3	4
11) 実習・実験	1	2	3	4

14. あなたにとって、本学の授業は次の項目に対してどの程度役に立ちましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	役に立たなかった	あまり役に立たなかった	やや役に立った	役に立った
1) 大学生活での目的や目標の設定	1	2	3	4
2) 学問に対する動機づけ	1	2	3	4
3) 職業や進路選択の方向づけ	1	2	3	4
4) 探究心を持つこと	1	2	3	4
5) 社会問題への関心を持つこと	1	2	3	4
6) 多様なものの見方に触れること	1	2	3	4
7) 批判的精神を持つこと	1	2	3	4
8) 一般常識を身につけること	1	2	3	4
9) 協調性を持つこと	1	2	3	4
10) 大学生であるという自覚を持つこと	1	2	3	4
11) 愛校精神を持つこと	1	2	3	4
12) 自分に自信や肯定感を持つこと	1	2	3	4
13) リーダーシップを発揮すること	1	2	3	4
14) 国際的視野の獲得	1	2	3	4

15. あなたは、大学入学後につきのような経験をしたことがありますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	経験したことがある	経験したことがない
1) 語学研修プログラムへの参加	1	2
2) 正規交換留学生として留学	1	2
3) 私費留学生として留学	1	2

16. あなたは、本学の教育全般に満足していますか、それとも不満ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1	2	3	4	5
満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である

17. あなたは、大学生活のなかで、次のことに対してどのように感じていますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1) 同じ学部・学科の友人がいる	1	2	3	4
2) 他の大学に通う友人がいる	1	2	3	4
3) 大学の教員と交流がある	1	2	3	4
4) 大学の一員だと感じる	1	2	3	4
5) 大学は気おくれして居心地が悪い	1	2	3	4
6) 大学はいつも退屈だ	1	2	3	4
7) 大学では毎日新しい発見がある	1	2	3	4

18. あなたは、大学での学習についてどのように考えていますか。次のような意見について、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

	そう 思わない	あまり 思わない	やや そう 思う	そう 思う
1) 大学で学ぶことは楽しい	1	2	3	4
2) 大学で学ぶこと自体に価値がある	1	2	3	4
3) 大学でよい成績をとることは重要だ	1	2	3	4
4) 大学で身につけた知識やスキルが将来の職業生活に役立つ	1	2	3	4
5) 大学を卒業すれば、よりよい条件の職業につくことができる	1	2	3	4
6) 大学で何を学んだかは就職活動の結果に関係がない	1	2	3	4

19. あなたは授業期間中、通常1週間に約何時間、授業中以外に学習活動(勉強、文章作成、読書、実験、リハーサル等)を行いましたか。まったく学習しなかった場合は、0(ゼロ)と記入してください。

--	--

時間 くらい

20. あなたは授業期間中に、通常1週間に約何時間、仕事またはアルバイトを行いましたか。アルバイトをまったくしなかった場合は、0(ゼロ)と記入してください。

--	--

時間 くらい

21. あなたは、最近3ヶ月で何冊ぐらい授業とは関係のない読書(漫画、趣味・娯楽雑誌を除く)をしましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 0冊 2. 1冊 3. 2冊 4. 3冊 5. 4冊 6. 5冊以上

22. あなたの大学入学後の学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	し な か っ た	し な か っ た	あ ま り	た ま に し た	日 常 的 に し た
1) 図書館を利用する	1	2	3	4	
2) 教科書以外の文献を読む	1	2	3	4	
3) 新聞の政治面、経済面、国際面等を読む	1	2	3	4	
4) 新聞、インターネット等で英文記事を読む	1	2	3	4	
5) 学習の計画を立てる	1	2	3	4	
6) インターネットで情報を収集する	1	2	3	4	
7) パソコンを使って文書や資料を作成する	1	2	3	4	
8) ボランティア活動をする	1	2	3	4	
9) クラブ・サークル活動を行う	1	2	3	4	
10) 新島襄や建学の精神にふれる大学の行事に参加する	1	2	3	4	

23. あなたは学部卒業後、どのような進路を考えていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|------------------|--------------|
| 1. 民間企業に就職する | 2. 公務員や教員として就職する | 3. 自営業や家業を継ぐ |
| 4. 大学院に進学する | 5. 他大学に(編)入学する | 6. 専門学校に進学する |
| 7. まだわからない | 8. その他(具体的に |) |

24. あなたが働くこと(希望する進路)について真剣に考え始めたのはいつごろでしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 大学入学前 | 4. 大学3年生の4月から9月 |
| 2. 大学1年生のとき | 5. 大学3年生の10月から3月 |
| 3. 大学2年生のとき | 6. まだ考えていない |

25. あなたが仕事や就職先を選ぶ際に、次のことはどのくらい重要ですが。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	重要でない	あまり重要でない	あるやや重要で	重要である
1) 大学で学んだことが生かせること	1	2	3	4
2) 自分の興味や関心に合っていること	1	2	3	4
3) 失業の恐れがないこと	1	2	3	4
4) 高い収入が得られること	1	2	3	4
5) 社会に貢献すること	1	2	3	4

26. あなたが将来めざす進路にはどのような能力が必要だと思いますか。A群より、もっとも必要だと考えるものから順に3つ答えて選択肢の番号を記入してください。また、その能力は大学生活のどの場面で得られると考えていますか。最初に選んだA群の項目に対応するものをB群から1つ選択して番号を記入してください。

順位	能力(A群から1つ選択)	場面(B群から1つ選択)
1		
2		
3		

A群

1. 一般的な教養	5. チームワーク	9. 人間関係を構築する能力
2. 専門分野の知識	6. 粘り強く取り組む力	10. 批判的に考える力
3. 課題を解決する力	7. 英語の能力	11. 自ら考え行動する力
4. 問題点を発見する力	8. リーダーシップの能力	12. コミュニケーション能力

B群

1. 大学の授業(教養科目)	5. 海外語学研修のプログラム	9. ボランティア活動
2. 大学の授業(専門科目)	6. 留学	10. 就職活動時
3. 大学の授業(ゼミ・卒業論文・卒業研究)	7. クラブ・サークル活動	11. 大学生活ではあまり身につかない
4. 大学の授業(外国語教育科目)	8. アルバイト	12. その他()

27. あなたは、希望する進路のためにどのような次のような活動を行いましたか。以下の項目にあてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	行った	行っていない
1) 専門学校に通う	1	2
2) 進路に関連のある授業を履修する	1	2
3) 目標とする職種に近いアルバイトをする	1	2
4) インターンシップ	1	2
5) 進路に関連する文献・雑誌記事を読む	1	2
6) クラブやサークルの先輩または OB・OG に仕事の話を聞く	1	2
7) キャリアセンターに行って相談を受ける	1	2
8) 教員に相談する	1	2
9) 語学検定試験や資格試験を受ける	1	2

学生 ID の記入について

教育開発センターでは、みなさんが 1 年生の時に実施した調査と今回の調査の回答を照合させ、今後の教育改善の取り組みに役立てていきたいと考えています。

この目的のため、学生 ID の記入をお願いしています。もちろん、この調査は回答者個人を特定して分析するものではなく、学生全体としての傾向を把握するためのものです。したがって、調査の結果から個人情報が漏洩することは絶対にありません。

以上のような趣旨をご理解いただいたうえで、学生 ID の利用に同意いただける方は下記の「1. 同意する」に○をつけ、あなたの学生 ID の記入をお願いいたします。

1. 同意する

↓

ID

--	--	--	--	--	--	--	--

2. 同意しない

↓

無記名のまま提出してください。

本学の教育について意見があれば、自由に記入してください。

ご協力ありがとうございました。

※本アンケート調査項目の利用を希望される場合は、同志社大学教育開発センター(ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp)までご連絡ください。

Q9：あなたは次のことに対して、どのくらい満足していますか。

Q9では、各種の授業科目や大学設備など、領域別の満足度について、「満足」から「不満」までの5段階で回答を求めている。図1では、「満足」と「やや満足」の合計（%）が多い順に項目を並べている。図1を見ると、図書館や情報機器などの設備環境については多くの学生が満足していることが確認できる。一方、「就職に関する情報提供や相談」については、相対的に学生の満足度が低くなっている。

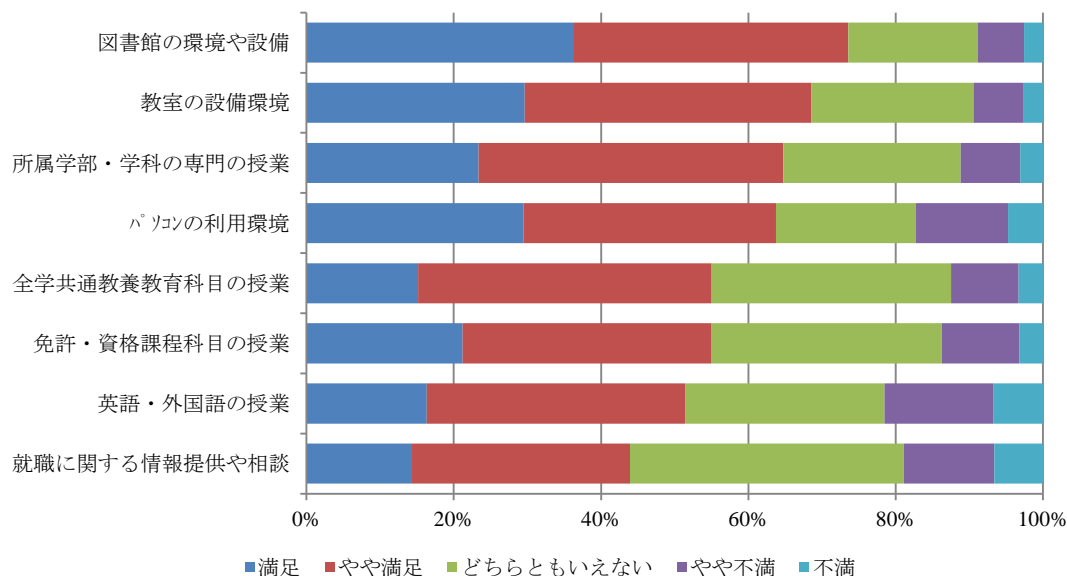


図1：領域別満足度（Q9）

*「免許・資格課程科目の授業」に関しては、Q11（授業の履修状況）と照合し、履修者のみに限定して集計している。

Q10：あなたは、次のような力が大学入学時にどの程度身についていたと思いますか。
また、今まで本学で大学生活を経験されて、その力がさらに身についたと思いますか。

Q10では、3年間の大学生活を経て、学生がどのような知識・技能を習得できたと認識しているのかを「身につかなかった」から「身についた」までの4段階の選択肢で質問している。回答を集計したものが図2であるが、ここでは、「やや身についた」と「身についた」の合計（%）が多い順に項目を並べている。

図2によると、最も多くの学生が獲得できたと認識している能力は「定められた形式に従ってレポートを書く力」であり、以下、「専攻分野や学科の知識」、「自ら考え行動する力」が続いている。

その一方で、「英語以外の外国語の能力」、「英語の能力」、「キリスト教精神」については、半数ほどの学生が身につかなかった（「身につかなかった」と「あまり身につかなかった」の合計）と考えているようである。特に、「キリスト教精神」に関しては、23.3%の学生が「身につかなかった」と回答しており、他の項目と比較して割合が高くなっている。

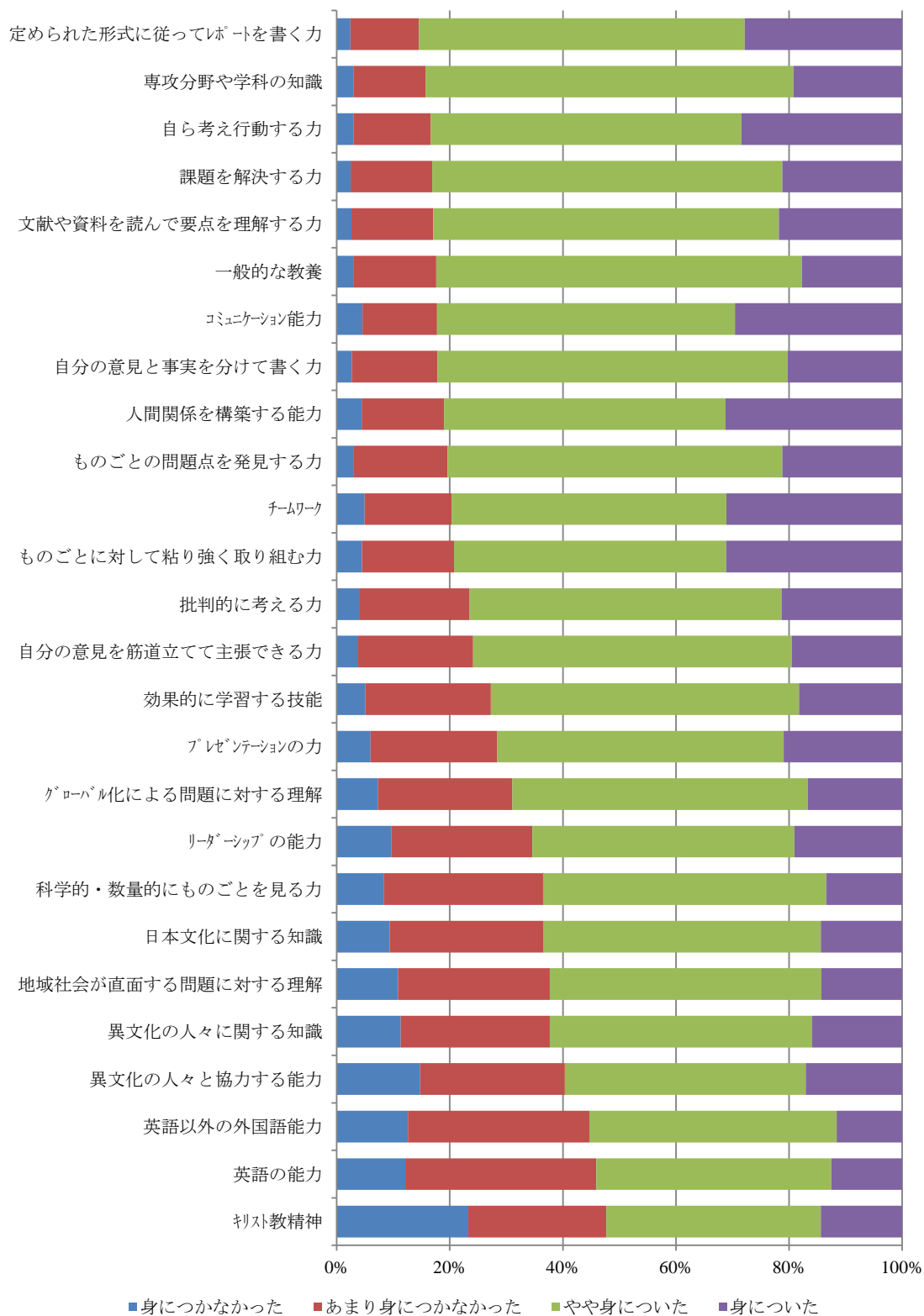


図 2：知識・技能の獲得状況「現在」(Q10)

Q11：あなたは、本学の授業で次のような科目を履修しましたか。

Q11 では、「同志社科目」や「プロジェクト科目」など、特徴的な授業科目の履修状況を尋ねている。回答結果を集計した図3から、最も受講率が高い科目は、51.6%の学生が履修した「同志社科目」であり、「体育実技」の42.8%が続いていることが確認できる。

また、1年次生では履修率が13.5%であった「学際科目」は26.7%の学生が履修している。さらに、「プロジェクト科目」を履修した学生も1年次生の2.7%から11.3%へと8ポイント以上増加している。ただし、実際には、図3に示した科目を履修したにもかかわらず、回答しなかったケースも多いと考えられる。

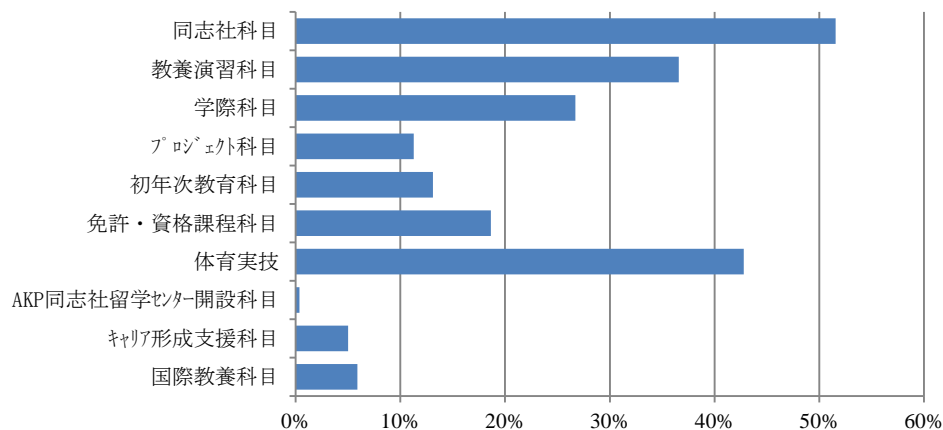


図3：履修した授業（Q11）

Q12：あなたは本学の授業に対して、どのように取り組んでいますか。

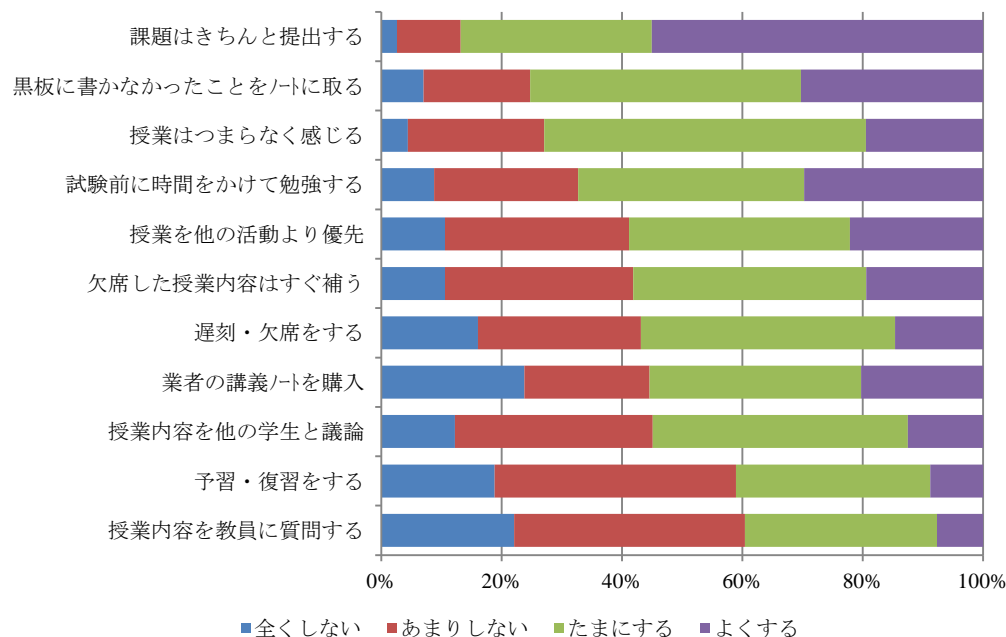


図4：授業に対する取り組み（Q12）

Q12では、授業に対する取り組みについて具体的な行動の頻度を尋ねている（回答の選択肢は「全くしない」、「あまりしない」、「たまにする」、「よくする」の4段階である）。図4では、頻度の多い順（「たまにする」と「よくする」の合計）に項目を整理している。

図4から、半数程度の学生は「授業をつまらなく感じる」ことがたまにあるようだが、多くの学生は「授業で出された課題をきちんと提出すること」や「教員が黒板に書かなかったことでもノートに取る」ことなどの基本的な学習態度は身につけていることが確認できる。

その一方で、「授業の予習や復習をする」ことや「授業内容について教員に質問すること」について、「たまにする」または「よくする」と回答した学生の合計（%）は、両項目とも4割ほどにとどまり、能動的な学習はそれほど活発ではないようである。

Q13：あなたがこれまでに受講した授業で、以下の授業形態・方法が取られたものがありましたか。

Q13では、3年間の大学生活を通して、学生がどのような形態・方法の授業を受講してきたのかを捉えるために、11の項目を設定し、各項目に対して「全くなかった」から「よくあった」までの4段階で回答を求めている。

それぞれの項目に対する回答の結果を整理した図5からは、1年次調査の結果と回答傾向が大きく異なる項目はなく、多くの学生にとって、出欠確認、定期的に出される課題の提出は日常的な出来事となっていることがわかる。また、1年次生と比較して未経験者の割合は、概ね減少し、特に、「SAやTAによる助言」に関しては10ポイントほど減少している（「全くなかった」と回答した学生の割合は、1年次調査で27.9%であったのに対して、3年次調査では19.1%）。

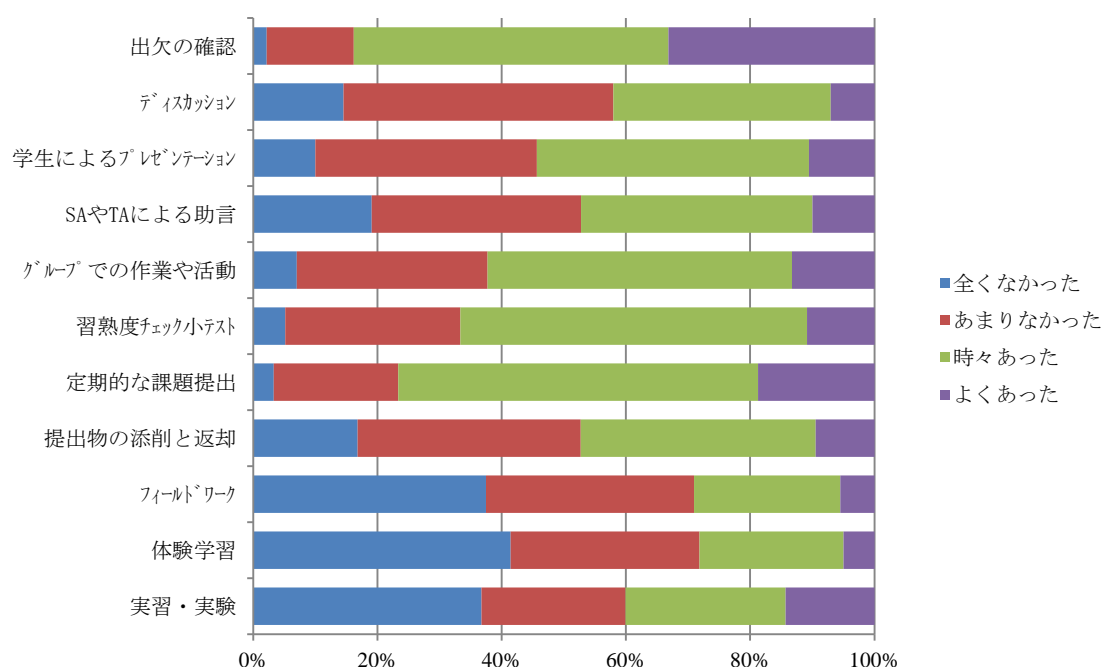


図5：授業の形態・方法（Q13）

Q14：あなたにとって、本学の授業は次の項目に対してどの程度役に立ちましたか。

Q14では、授業内容がどの程度役立ったかを具体的に質問し、4段階（「役に立たなかった」、「あまり役に立たなかった」、「やや役に立った」、「役に立った」）で回答を求めている。図6では、「やや役に立った」と「役に立った」の合計（%）が多い順に項目を並べている。

回答結果を集計した図6によれば、「やや役に立った」までを含めると、8割近い学生が、本学の授業内容が「多様なものの見方にふれること」について役立ったと評価していることがわかる。これに続いて、「探究心を持つこと」、「一般常識を身につけること」などについても7割以上の学生が役立ったと考えていることが確認できる。

その一方で、学生の評価が相対的に低いのは、「国際的視野の獲得」、「愛校精神を持つこと」、「リーダーシップを発揮すること」といった項目であり、4割以上の学生が役に立たなかった（「役に立たなかった」と「あまり役に立たなかった」の合計）と考えているようである。

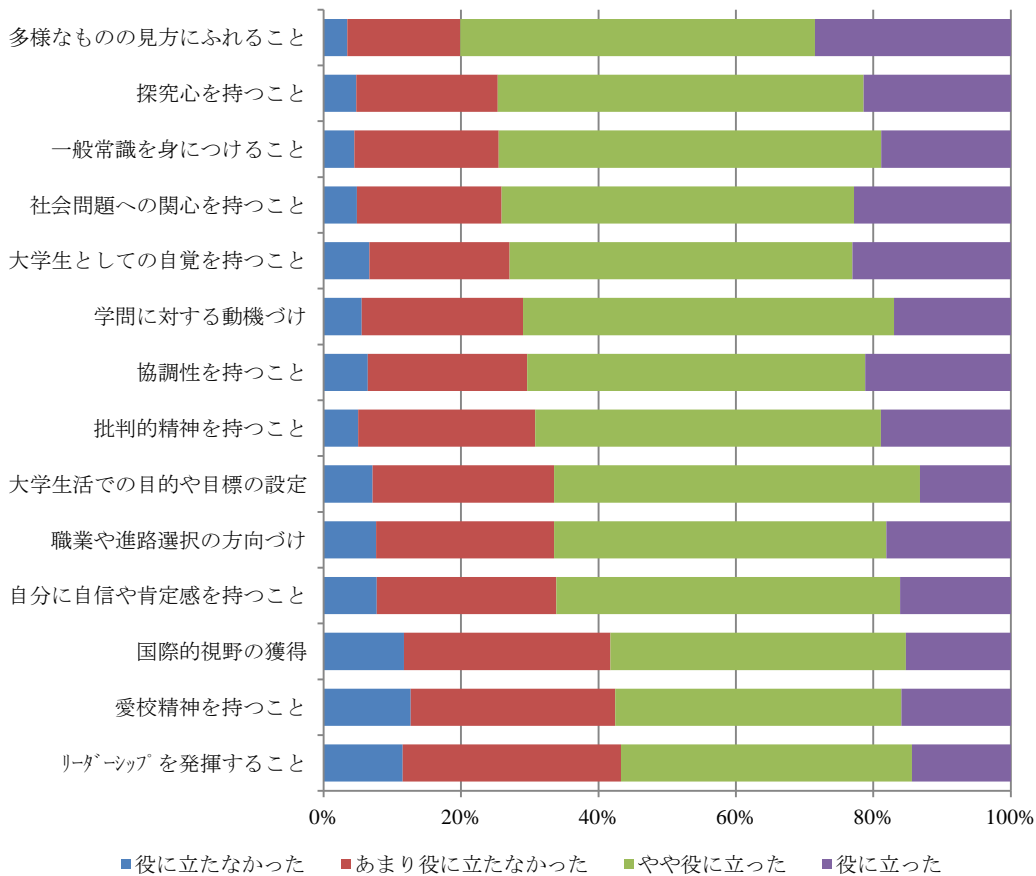


図6：授業に対する評価（Q14）

Q15：あなたは、大学入学後につきのような経験をしたことがありますか。

Q15 では、大学入学後にした留学等の経験について質問している。本学で留学経験がある者はごく一部の学生に限定されるが、留学を経験した学生の割合は 1 年次に比べてわずかなではあるが増加している（図 7）。また、ここで質問した 3 つの項目のうち、どれか 1 つでも経験した学生の割合は、10.4%であった。

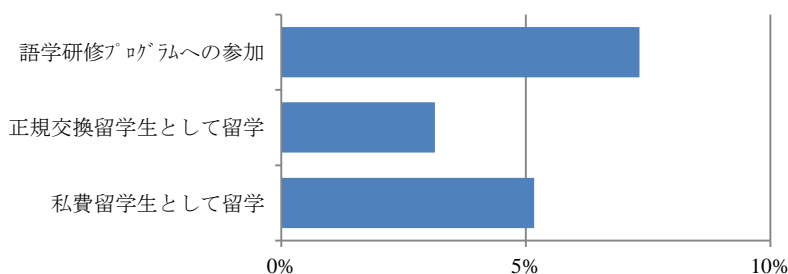


図 7：留学等の経験（Q15）

Q16：あなたは、本学の教育全般に満足していますか、それとも不満ですか。

Q16 では、教育全般に対する満足度を質問している（回答の選択肢は、「満足している」、「どちらかといえば満足している」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満である」、「不満である」の 5 段階である）。回答結果をまとめた図 8 から、「どちらかといえば満足している」まで含めると、6 割以上の学生が本学の教育に満足していることがわかる。一方で、「どちらかといえば不満である」と「不満である」の合計 (%) は 12.7%であった。

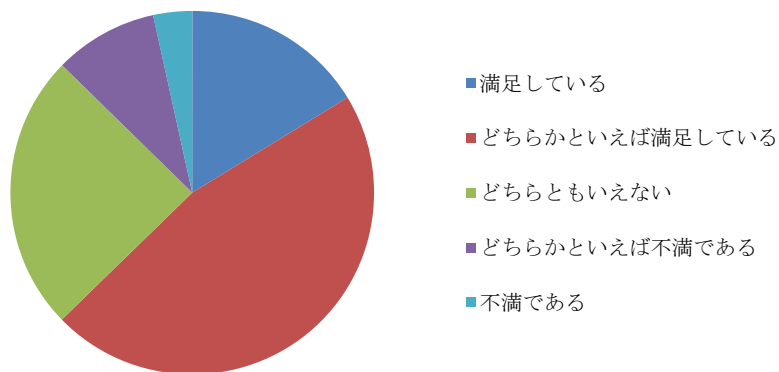


図 8：教育満足度（Q16）

Q17：あなたは、大学生活のなかで、次のことに対してどのように感じていますか。

Q17では、友人・教員との関係や、大学生活を過ごすなかで日常的に感じる意識を捉えることを目的に、7項目を設定している（回答の選択肢は、「あてはまる」、「ややあてはまる」、「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」の4段階である）。

図9によると、「同じ学部・学科の友人がいる」ならびに「他の大学に通う友人がいる」については、7割以上の学生が「あてはまる」と回答している。さらに、「大学の教員と交流がある」についても、6割近くの学生が肯定的な回答（「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計）をしている。これは、専門科目の履修が中心となる3年次では、教員と身近に接する機会が増えることが影響していると思われる。

他方、「大学は気おくれして居心地が悪い」、「大学はいつも退屈だ」に関する肯定的な回答は4割未満にとどまり、多くの学生は積極的に大学生活を過ごしているようである。

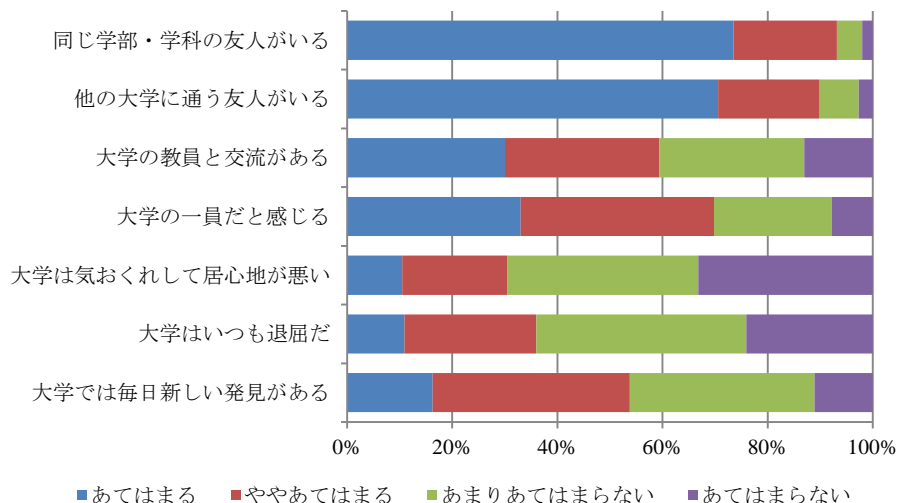


図9：大学への適応（Q17）

Q18：あなたは、大学での学習についてどのように考えていますか。

Q18では、学生が大学教育に対してどのような意識を持っているのかを捉えるために、6つの項目を設定し、それぞれについて「そう思う」から「そう思わない」までの4段階で回答を求めている。

回答結果をまとめた図10を見ると、7割以上の学生が大学での学習を楽しみ、学ぶことそれ自体に価値があると考えていることがわかる。大学教育の職業的価値（「大学で身につけた知識やスキルが将来の職業生活に役立つ」、「大学を卒業すれば、よりよい条件の職業につくことができる」）についても、6~7割程度の学生が肯定的に捉えているようである（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）。ただし、大学での学習内容が就職活動の成否を握ると考えている学生は半数以下にとどまっている。

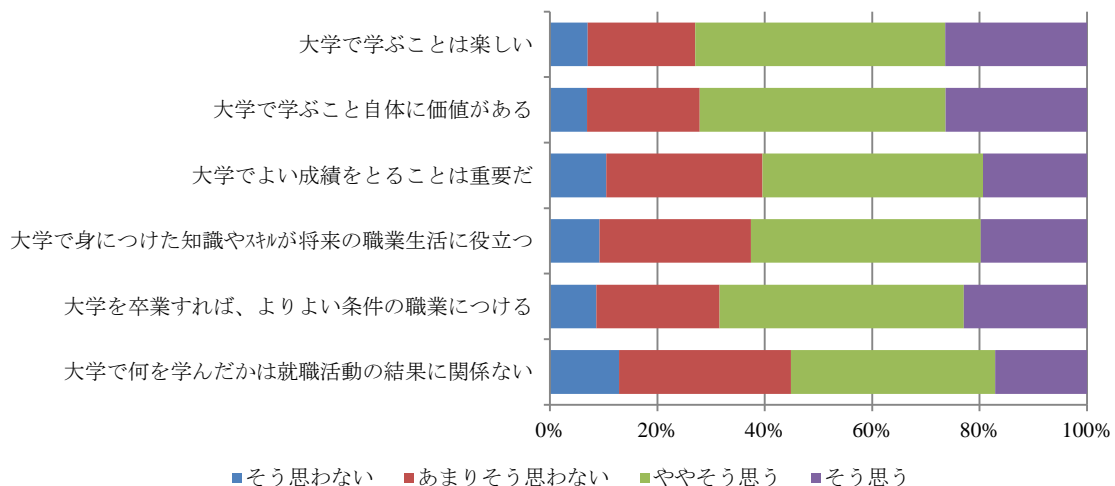


図 10：大学教育の価値（Q18）

Q19：あなたは授業期間中、通常1週間に約何時間、授業中以外に学習活動（勉強，文章作成，読書，実験，リハーサル等）を行いましたか。

Q19 では、授業期間中の授業時間外に行った学習時間（1週間あたり）について尋ねている。全体の平均学習時間は 5.3 時間であり、1 年次生と比べて 3 年次生の方が学習時間は長くなっていた（1 年次生の平均学習時間は 4.7 時間）。図 11 では、1 時間ごとに区分して回答を集計している。図 11 によると、最も割合の多いのは「0 時間」であり、2 割強（22.1%）の学生は授業時間外に全く学習活動を行っていない。これに、「1 時間程度」の 18.2%が続いている。

そうした一方で、学習時間が 10 時間以上の学生も 2 割弱存在する（学習時間が「10 時間程度」、「11 時間以上」と回答した学生の割合は、それぞれ順に 10.0%と 9.9%）。

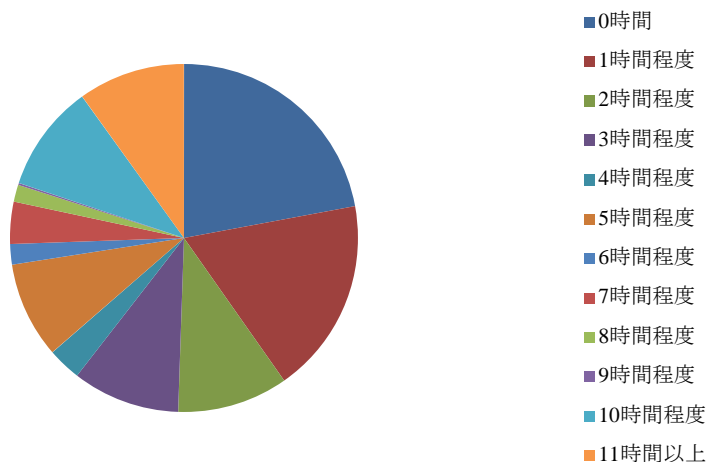


図 11：1週間あたりの授業外学習時間（Q19）

Q20：あなたは授業期間中に、通常1週間に約何時間、仕事またはアルバイトを行いましたか。

授業期間中に行ったアルバイトについても授業外学習時間と同様の形式で、1週間あたりの勤務時間を質問している（Q20）。全体の平均は11.6時間であり、3年次になると2時間あまりアルバイト時間が長くなっている（1年次生の平均アルバイト時間は9.1時間）。

図12はアルバイト時間を5時間ごとに区分してまとめたものである。これによると、2割ほど（21.9%）の学生はアルバイトをしていない（1年次生でアルバイトをしていない学生の割合は31.9%）。一方、アルバイトを行っている学生の1週間あたりの勤務時間は、6時間から20時間程度が多い（「6-10時間程度」、「11-15時間程度」、「16-20時間程度」と回答した学生の割合は、順に20.3%、16.7%、18.3%）。

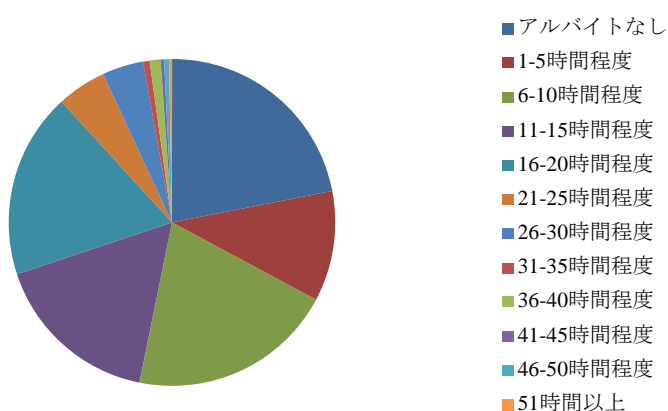


図12：1週間あたりのアルバイト従事時間（Q20）

Q21：あなたは、最近3ヶ月で何冊ぐらい授業とは関係のない読書（漫画、趣味・娯楽雑誌を除く）をしましたか。

Q21では、最近3ヶ月間の読書量を質問している。図13は回答結果をまとめたものであるが、「5冊以上」と回答した学生が最も多く、全体の1/4程度を占めている。そうした一方、全く読書をしていない学生（「0冊」）は16.3%であった。

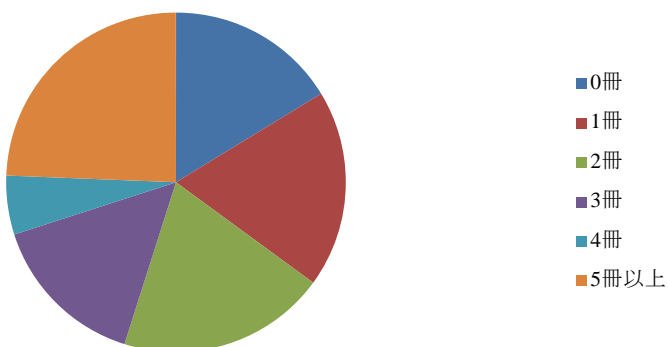


図13：読んだ本の冊数（Q21）

Q22：あなたの大学入学後の学習・生活習慣について、あてはまる番号にそれぞれ1つ〇をつけてください。

Q22では、図書館の利用状況やボランティア活動の参加頻度などについて質問し、それぞれの項目に対して「しなかった」、「あまりしなかった」、「たまにした」、「日常的にした」の4段階で回答を求めている。図14は回答結果を整理したものであるが、1年次調査と比較すると、全ての項目において、「日常的にした」と回答した学生の割合が増加している。特に、「インターネットで情報を収集する」ならびに「パソコンを使って文書や資料を作成する」に関しては、それぞれ10ポイント以上増加しており、3年次になると、およそ4割の学生が日常的にパソコンを活用しているようである。ただし、ボランティア活動や建学の精神にふれる大学行事に参加した経験がある学生は、1年次生と同様、半数ほどであった。

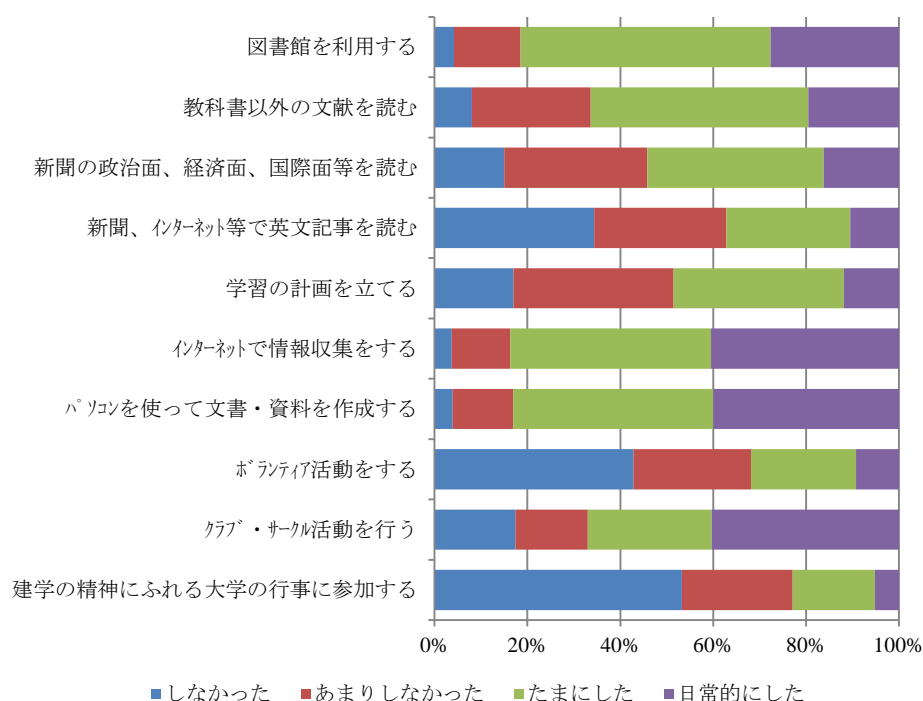


図14：学習行動・生活習慣（Q22）

Q23：あなたは学部卒業後、どのような進路を考えていますか。

Q23では、大学卒業後に希望する進路を尋ねている。回答結果をまとめた図15によると、希望進路として最も多いのは「民間企業に就職する」の65.3%であり、以下、「大学院に進学する」の12.2%、「公務員や教員として就職する」の10.8%が続いている。さらに、この3つを合わせると全体の9割近くを占めている。その一方で、「まだわからない」と回答した学生も7.1%確認された。

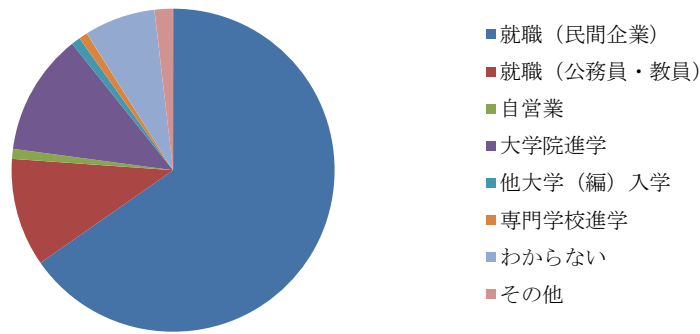


図 15 : 希望する進路 (Q23)

Q24 : あなたが働くこと (希望する進路) について真剣に考え始めたのはいつごろでしたか。

Q23 (希望進路) の分析から、3 年次終了までに、多くの学生が卒業後の進路に関して何らかの希望や見通しを抱いていることがわかった。さらに、Q24 では、「働くこと (希望する進路) について真剣に考え始めた」時期について質問している。図 16 は、その回答を、男女別に集計したものである。

図 16 から、男女ともに半数以上の学生が 3 年に入ってから「働くこと (希望する進路) について真剣に考え始めた」ことがわかる。「大学入学前」から考えていた者の割合は 2 割にとどかない (男子 17.8%, 女子 15.0%)。また、「まだ考えていない」と回答した者の割合は、男子学生の方が多くなっている (男子 8.9%, 女子 4.0%)。

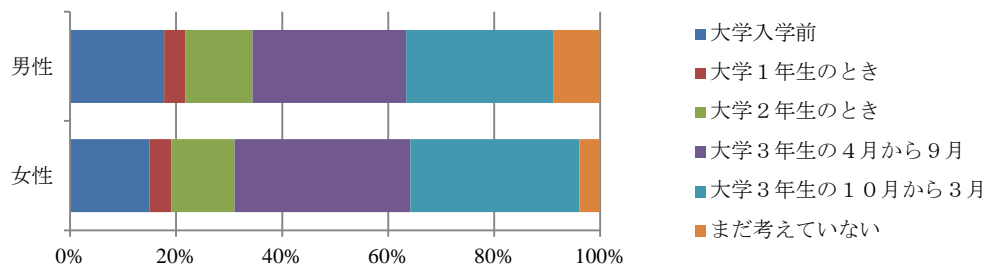


図 16 : 希望進路を考え始めた時期 (Q24)

Q25：あなたが仕事や就職先を選ぶ際に、次のことはどのくらい重要ですか。

Q25では、就職先を選択する際の基準を捉えることを目的に、図17に示したような5項目を設定し、各項目に対して4段階の選択肢（「重要でない」、「あまり重要でない」、「やや重要である」、「重要である」）で質問している。回答結果を集計した図17を見ると、多くの学生にとって、「自分の興味や関心に合っていること」や「社会に貢献すること」が就職先を決定する上で重要なポイントとなっていることがわかる。一方、「大学で学んだことが生かせること」を重視する学生は、「やや重要である」まで含めても、半数以下にとどまっている。

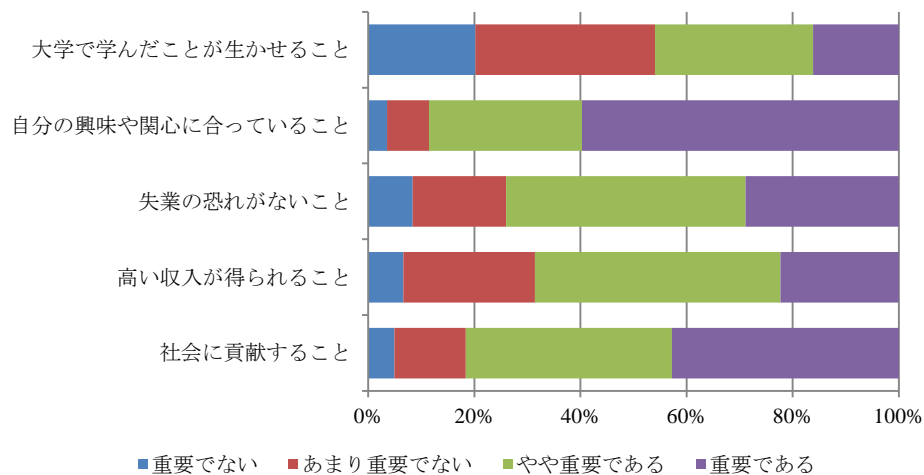


図17：就職の際に重視すること（Q25）

Q26：あなたが将来めざす進路にはどのような能力が必要だと思いますか。A群より、もっとも必要だと考えるものから順に3つ答えて選択肢の番号を記入してください。また、その能力は大学生生活のどの場面で得られると考えていますか。

Q26では、(1) 希望する進路にどのような能力が必要であるか、(2) その能力が大学生生活のどの場面で得られると考えているか、という2つの項目を組み合わせ、1位から3位までの順位付けを行うように求めている。

はじめに、学生自身が将来目指す進路に就くために、どのような能力が必要だと考えているのかを確認する。順位別に集計した図18を見ると、1位では、「コミュニケーション能力」が2割を超え突出していることがわかる。これに、「チームワーク (15.1%)」、「自ら考え行動する力 (12.8%)」が続いている。2位、3位では、際立って突出した項目は見当たらない。また、「批判的に考える力」は順位を問わず最も低い。

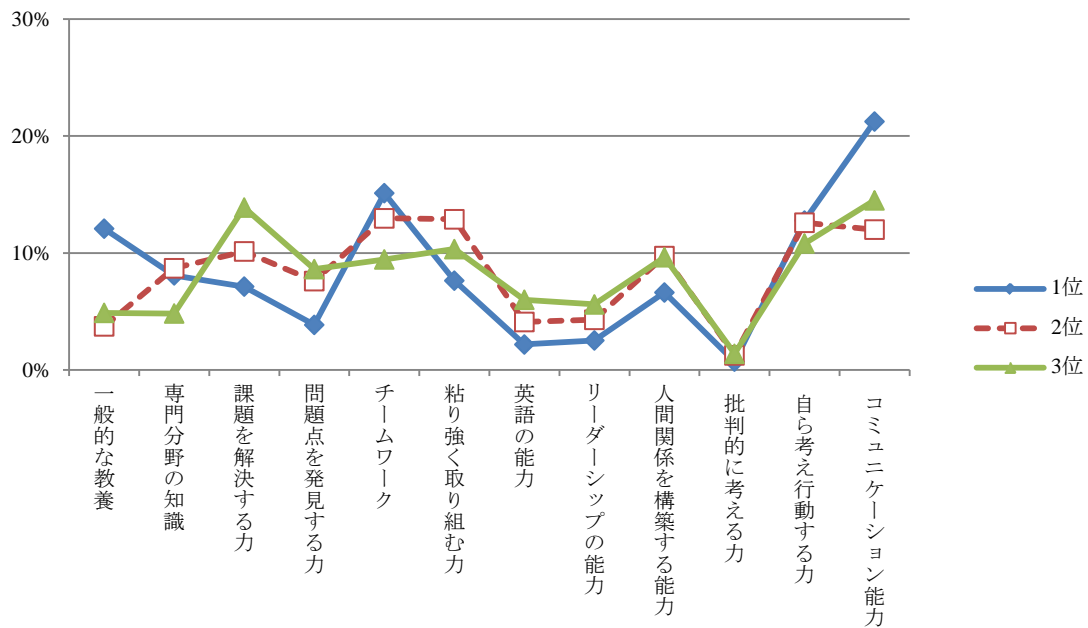


図 18：将来の進路に必要な能力 (Q26)

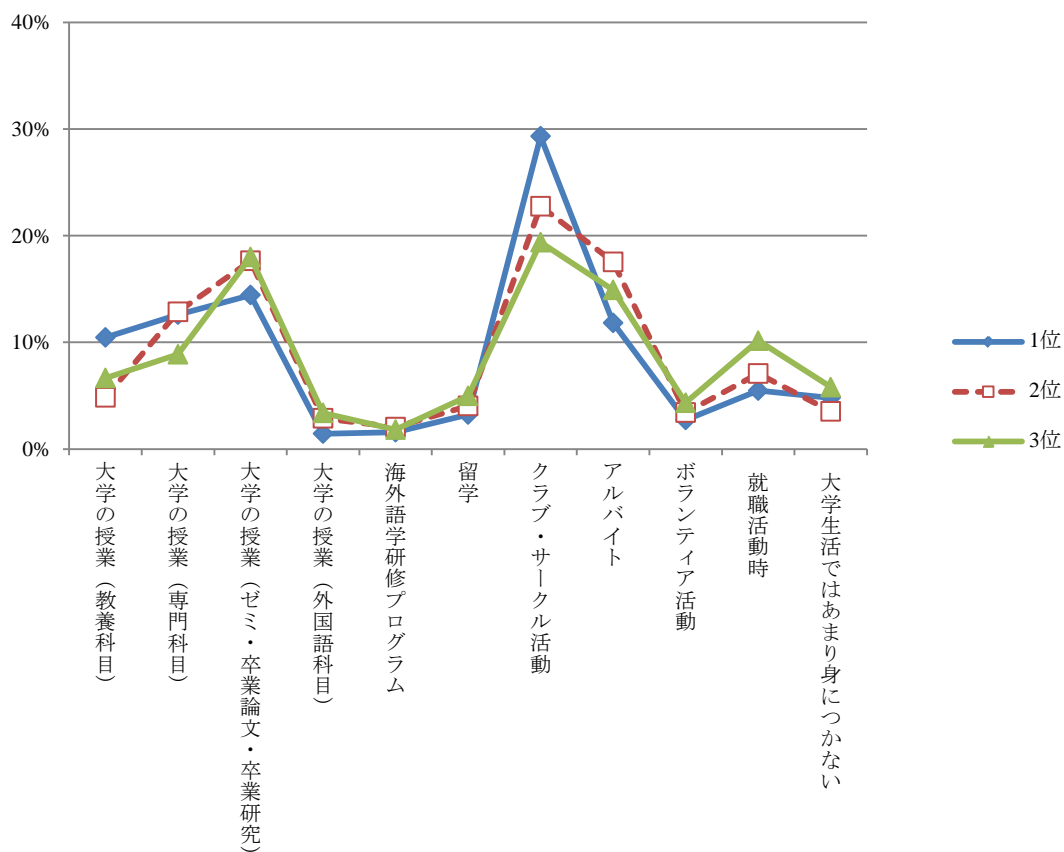


図 19：必要な能力が得られる場面 (Q26)

次に、こうした能力がどのような場面で習得できると考えているのかを示したのが図 19 である。図 19 によると、1 位から 3 位までで回答傾向の違いはそれほど認められず、「クラブ・サークル活動」、「アルバイト」、「大学の授業（ゼミ・卒業論文・卒業研究）」への期待が高い。さらに、「大学の授業（専門科目）」を選択する学生も順位を問わず 1 割程度いる。この結果を見ても、学生が能力形成の場として大学教育を軽視しているわけではないことがわかる。

続いて、これらの 2 つを組み合わせ、必要な能力と得られる場面の対応関係を示したのが図 20 である。図 20 では、能力ごとに、どのような場面で習得できると考えているのかを 1 位から 3 位までの回答を合併して集計している。さらに、「大学の授業（教養科目、専門科目、ゼミ・卒論・卒研、外国語科目の合計）」の割合が多い順に並べているので、学生が大学教育に対して、どのような期待を寄せているのかをうかがい知ることができる。

図 20 から、「大学の授業」の割合が高いのは、「専門分野の知識」、「一般的な教養」、「課題を解決する力」、「批判的に考える力」、「問題点を発見する力」などであることがわかる。なかでも、「課題を解決する力」、「批判的に考える力」、「問題点を発見する力」に関しては、「大学の授業（ゼミ・卒業論文・卒業研究）」の割合が高くなっていることが特徴的である。

他方、学生が最重要視している「コミュニケーション能力」は、「クラブ・サークル活動」や「アルバイト」で習得できると考えているようである。

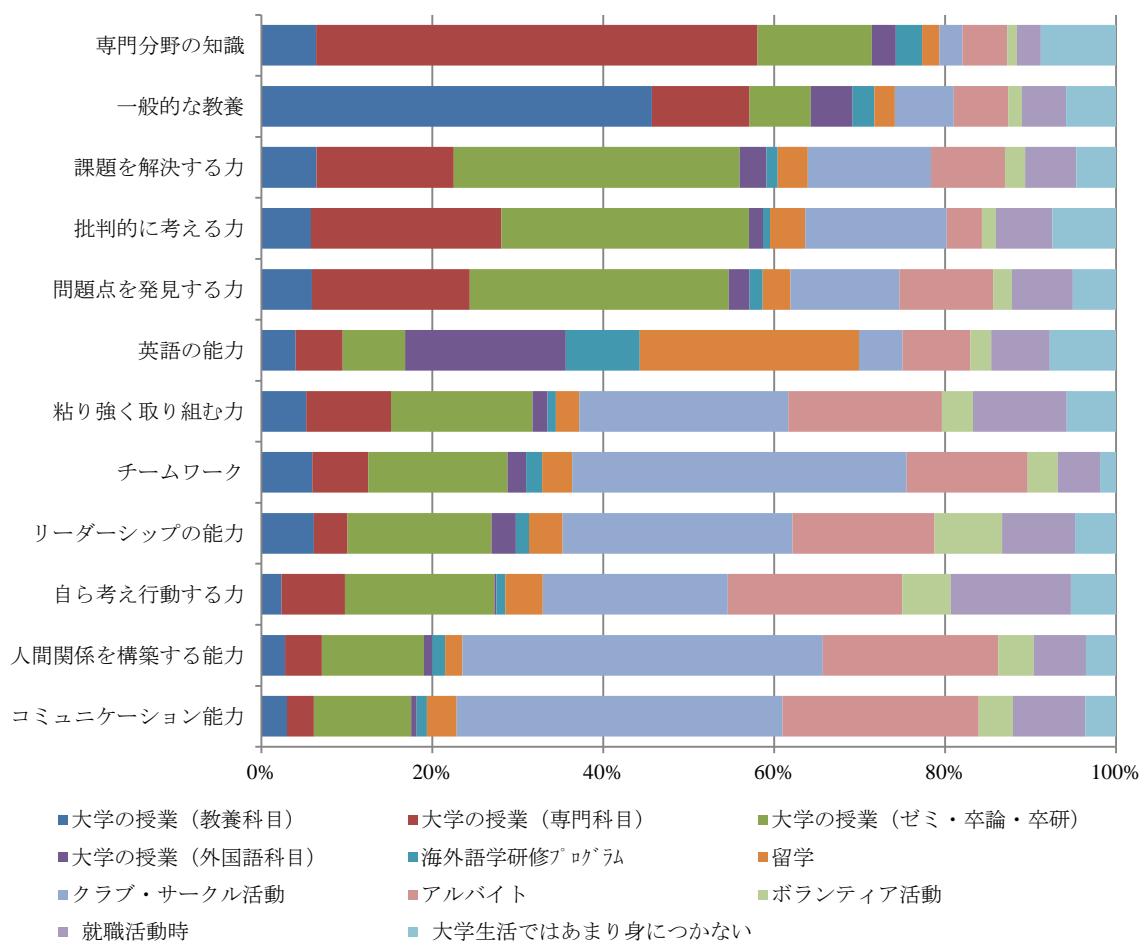


図 20：必要な能力と得られる場面の対応関係

Q27：あなたは、希望する進路のために次のような活動を行いましたか。

最後の Q27 では、希望する進路のために、学生が具体的にどのような活動を行っているのかを質問している。図 21 は、各項目に対して経験した学生の割合を男女別に集計したものである。

全体として、回答傾向に男女差は見受けられない。ただし、1 項目（「専門学校に通う」）を除いて、女子学生の方が経験率は高くなっている。また、最も経験率が高い項目は、男女ともに「進路に関連する文献・雑誌を読む（男子 58.9%、女子 68.7%）」であり、これに「先輩または OB・OG に仕事の話を聞く（男子 54.8%、女子 62.7%）」が続いている。就業力育成の観点から話題になることが多い「インターンシップ」の経験率は、男子学生で 19.1%、女子学生で 26.0%であった。

また、「行った」活動の個数を集計してみると、平均は男子が 3.1 個、女子が 3.8 個であり、女子学生のほうが積極的に活動を行っていることがわかった。

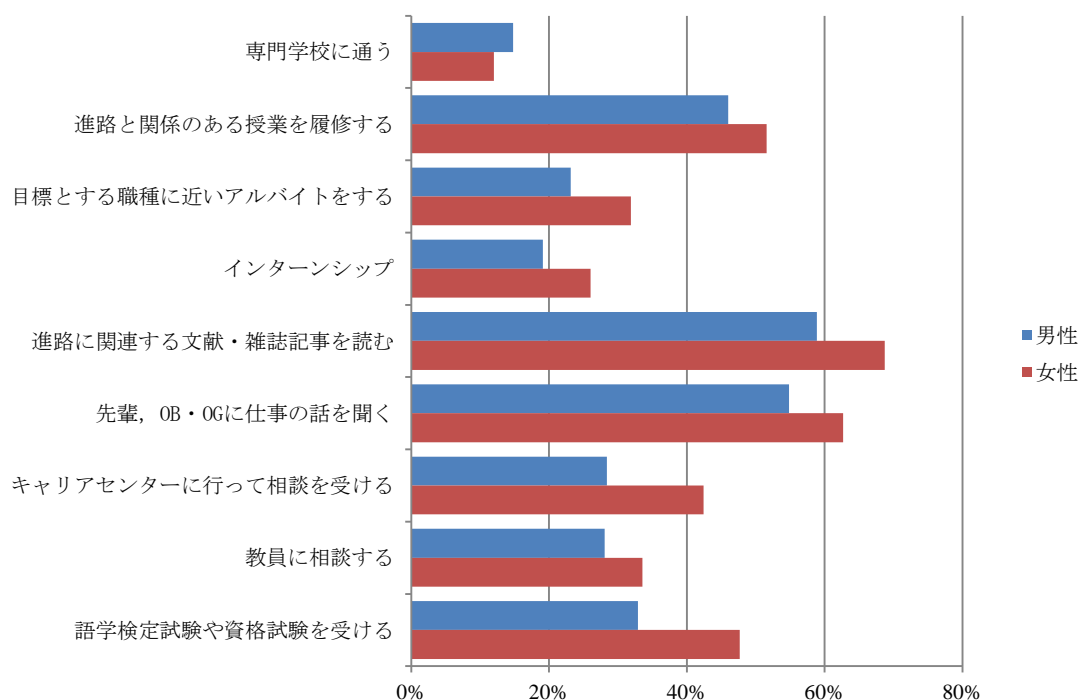


図 21：希望する進路のための活動状況（Q27）